

基本目標

2

—教育・文化—

学び合い、志を育むまちづくり

基本施策

単位施策

21 「志」の教育 信頼される  
学校教育の確立

211 志を持ち未来へ挑戦する児童  
生徒の育成

212 学校・家庭・地域が協働した児童  
生徒の教育の推進

213 児童生徒一人一人の自立を  
目指した就学支援の充実

22 学び合い生きがいを育む  
社会教育の充実

221 生涯各期に応じた学習機会の  
充実

222 芸術・文化の普及・振興

223 スポーツの振興

23 安心・安全で質の高い  
教育環境の整備

231 教育施設・設備の充実

## 基本施策 21 「志」の教育 信頼される学校教育の確立

### 基本施策の目的と方向性

- これまで育まれてきた「生きる力」や、その中で重視されてきた「知・徳・体」の育成の現代的な意義を改めて捉え直し、夢や志を持って可能性に挑戦するために必要な力を確実に育む取組を推進し、学校・家庭・地域が協働して教育する仕組みづくりを推進します。  
また、学校改善に取り組むと同時に、校種間連携・地域連携を図りながら、信頼される学校教育を確立し、「あいさつ」「感謝」をベースとした「志」の教育を推進します。



### 単位施策の方向性

#### ◆単位施策 211 志を持ち未来へ挑戦する児童生徒の育成

- 社会の中で自己実現するために、自分を大切に、夢や志を持って挑戦し、学び続ける力を持つ児童生徒を育成します。
- 「志」の実現に必要な資質・能力を育成するため、主体的・対話的で深い学びを推進し、確かな学力を育成します。また、学校図書館の充実による、児童生徒の自主的・主体的な学習を推進します。
- 「あいさつ」「感謝」をベースに思いやりの心や感動する心等を育成するとともに、自らの身体を知り、課題の解決に取り組もうとする意欲・実践力を養い、豊かな心とたくましい身体を育成します。
- 国際化に対応した教育を推進し、外国語によるコミュニケーション能力の向上・定着を図るとともに、広い視野を持ち他者と協働する能力を持ったグローバルな社会に挑戦する児童生徒を育成します。
- 情報化に対応した教育を推進し、ICT(情報通信技術)<sup>※</sup>の効果的な活用によって、授業の質の向上を図り、学びの多様化により、主体的・協働的に学ぶ児童生徒を育成します。

本文中、<sup>※</sup>印のある言葉は、第4編「参考資料」の「6 用語解説」に掲載しています。

指標	当初(H27年度)	現状値(R1年度)	目標値(R7年度)
全国学力・学習状況調査※の教科に関する調査の結果 (県平均を上回るポイント数)	小学校 2.4ポイント 中学校 3.6ポイント	小学校 5.0ポイント 中学校 3.3ポイント	小学校 5.0ポイント 中学校 3.0ポイント
「将来の夢や目標はかなうと思う」と答える児童生徒の割合※	小学校 80.6% 中学校 69.7%	小学校 82.2% 中学校 69.2%	小学校 85.0% 中学校 72.0%
全国学力・学習状況調査の正答率30%未満の児童生徒の割合	—	小学校 5.4% 中学校 8.0%	小学校 2.0%以下 中学校 4.0%以下

#### ◆単位施策 212 学校・家庭・地域が協働した児童生徒の教育の推進

- 開かれた学校・信頼される学校を目指して、学校・家庭・地域の協働により「コミュニティ・スクール」※の活性化を図り、学校も地域も子どもも元気になる「地域とともにある学校」を目指します。
- 学校現場の業務改善及び教職員の資質向上を推進するとともに、教育委員会と学校が連携・協力・情報共有を緊密に行う体制を確立し、新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導体制の整備に取り組みます。また、外部人材との連携を推進するとともに、教諭以外の多様な職員が専門性を発揮して、子ども達を指導・支援する「チーム学校」に取り組みます。

指標	当初(H27年度)	現状値(R1年度)	目標値(R7年度)
「子どもと向き合う時間が確保されている」と感じる教員の割合※	—	小学校 85.8% 中学校 83.3%	小学校 90.0% 中学校 90.0%

#### ◆単位施策 213 児童生徒一人一人の自立を目指した就学支援の充実

- 多様なニーズに対応した教育機会を提供し、児童生徒一人一人の自立を目指した就学支援の充実を図ります。

指標	当初(H27年度)	現状値(R1年度)	目標値(R7年度)
「授業がよく分かる」と答える児童生徒の割合※	小学校 84.1% 中学校 71.2%	小学校 85.5% 中学校 72.1%	小学校 87.0% 中学校 77.0%

本文中、※印のある言葉は、第4編「参考資料」の「6 用語解説」に掲載しています。

### 基本施策の目的と方向性

- 人生 100 年を見据えたライフサイクルの中で、全ての人が生涯を通じて学び続け、学んだことを活かした活躍ができるよう、いつでも、どこでも、何度でも学べる環境を整え、社会教育施設を中心に、ボランティア団体等との連携・協力を図りながら、「学び合い 生きがいを育む」社会教育の充実を図ります。



### 単位施策の方向性

#### ◆単位施策 221 生涯各期に応じた学習機会の充実

- 生涯各期に応じた学習機会を提供するとともに、学習活動で得た成果をボランティア活動や地域の指導者として活かす仕組みづくりを目指します。
- 家庭教育を支援する学習プログラム講座を開催するスタッフの養成、核となるリーダーの育成を行うとともに、公民館を中心として学習・交流機会を提供します。
- 情報拠点としての図書館活動を推進し、幼児期からの読書活動の定着による子育て支援を行うとともに、ボランティアの育成や交流を通じてボランティア活動の活性化を図ります。

指標	当初(H27 年度)	現状値(R1 年度)	目標値(R7 年度)
生涯学習活動数	1,053 件	1,183 件	1,400 件

#### ◆単位施策 222 芸術・文化の普及・振興

- 様々な文化に触れるためのイベント等を開催するとともに、文化団体相互の連携を推進し、発表機会の提供や活動の支援を通じて、芸術・文化活動を推進します。
- 文化財の保存と活用を推進するとともに、府中町の歴史・文化・自然について学習する機会の提供と支援を行います。

指標	当初(H27 年度)	現状値(R1 年度)	目標値(R7 年度)
芸術文化イベント参加者及び活動者数	427 人	428 人	510 人

**◆単位施策 223 スポーツの振興**

- スポーツを身近に感じ、スポーツを通じた交流による地域力の向上を図るため、地域のスポーツの取り組みを支援します。
- 健康推進部門との連携による健康増進のためのスポーツの推進や、幼児期からの身体を動かす遊びの充実等によるスポーツ参画人口の拡大を目指します。
- 競技団体やスポーツ団体への支援、指導者の養成等により、競技力の向上を推進します。

指標	当初(H27年度)	現状値(R1年度)	目標値(R7年度)
社会体育施設利用者数	397,583人	342,546人	400,000人



基本施策の目的と方向性

- 生涯にわたり学ぶ力を養うため、多様な学習活動に対応した機能的で質の高い教育環境の整備・充実に取り組むとともに、安心して学べる施設・設備の改善・充実に図ります。



単位施策の方向性

◆単位施策 231 教育施設・設備の充実

- 学校・社会教育施設等の計画的な維持管理を行い、施設の長寿命化を図ります。
- 多様な学習活動に対応した教育環境の整備、安心・安全で質の高い学校施設等の施設・設備の充実に図ります。
- 社会の変化に応じた学習機会を提供するため、社会教育施設の充実に図ります。

指標	当初(H27年度)	現状値(R1年度)	目標値(R7年度)
施策(事務事業総括)進捗率※	—	—	100%



本文中、※印のある言葉は、第4編「参考資料」の「6 用語解説」に掲載しています。